




リ
ゲ
ル

寂
し
が
り
の



You always need to be with me.

あったかい…

あったかくて
きもちいい…

主に下半身が

下半身…？





え？

スレイ

スレイ……っ

え

ズ…

ズ…

ミクリオ!?

ズ…

ズ…

ズ…

びん

あっ

スレイ

好き……っ

トキッ

ゆさ

ゆさ

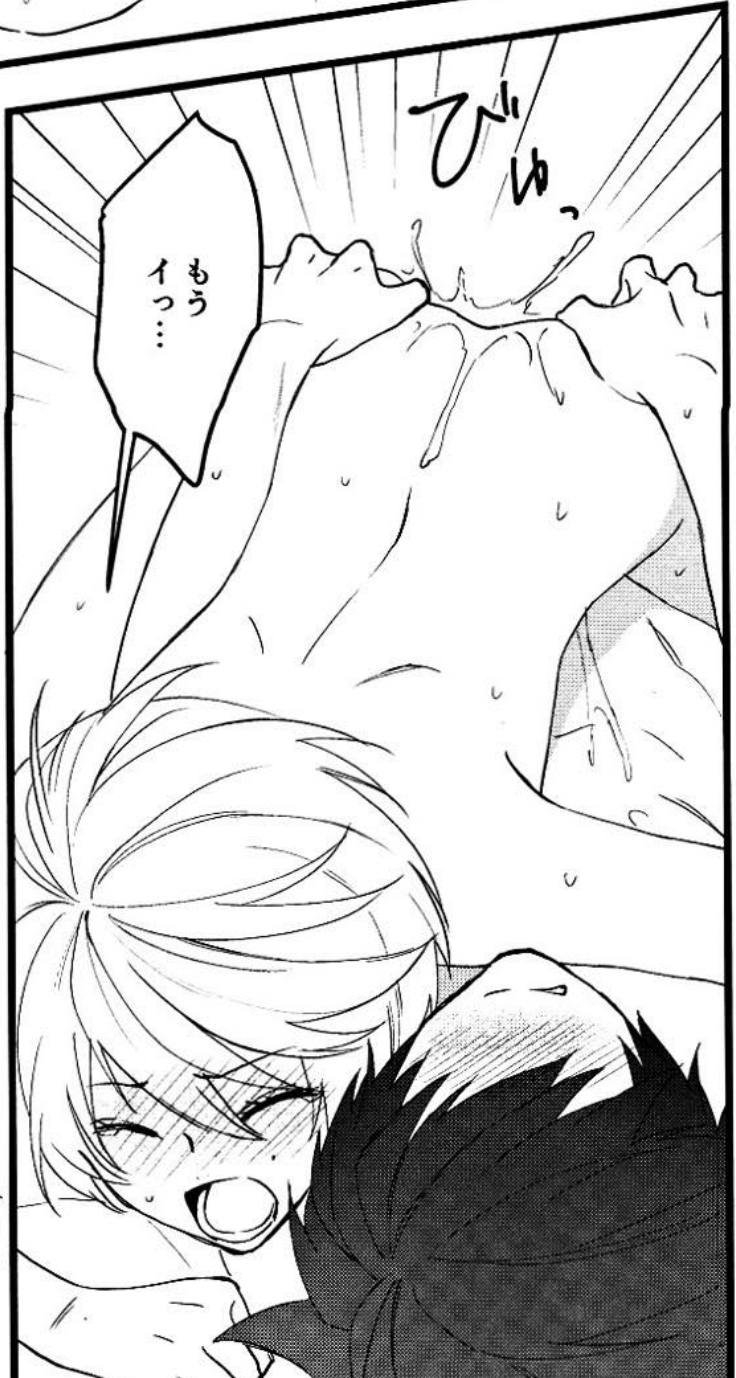


あ、

あはは

なんで...
おっき〜...!

ぐんっ





スレイ...?

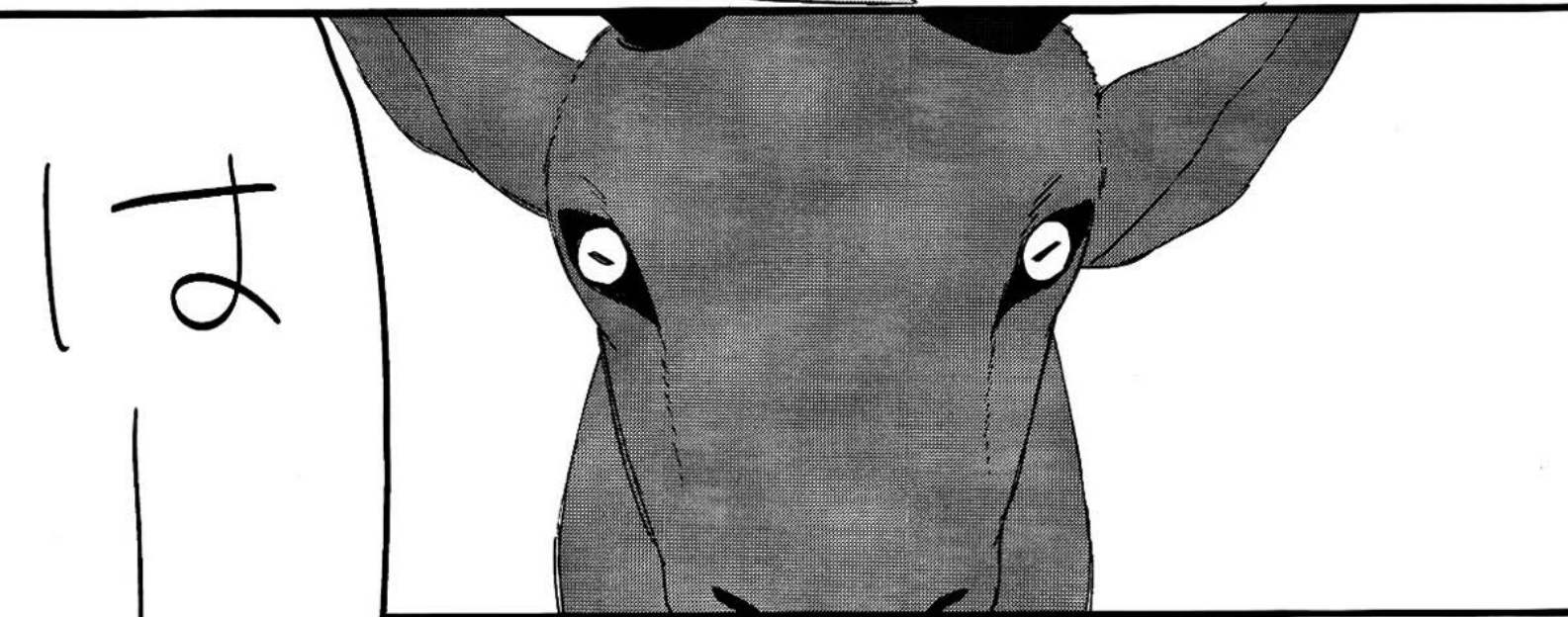


.....
バレたかと
思ったけど...



寝ぼけて
たのか？

とにかく
今のうちに







オレがやる!



僕がやるよ



そら?



仲良しかー

あーあー



ミクリオってあんな
可愛かったっけ

綺麗だとは
思ってたけど…



興味本位？

「りっしん」

まさか



それにしても

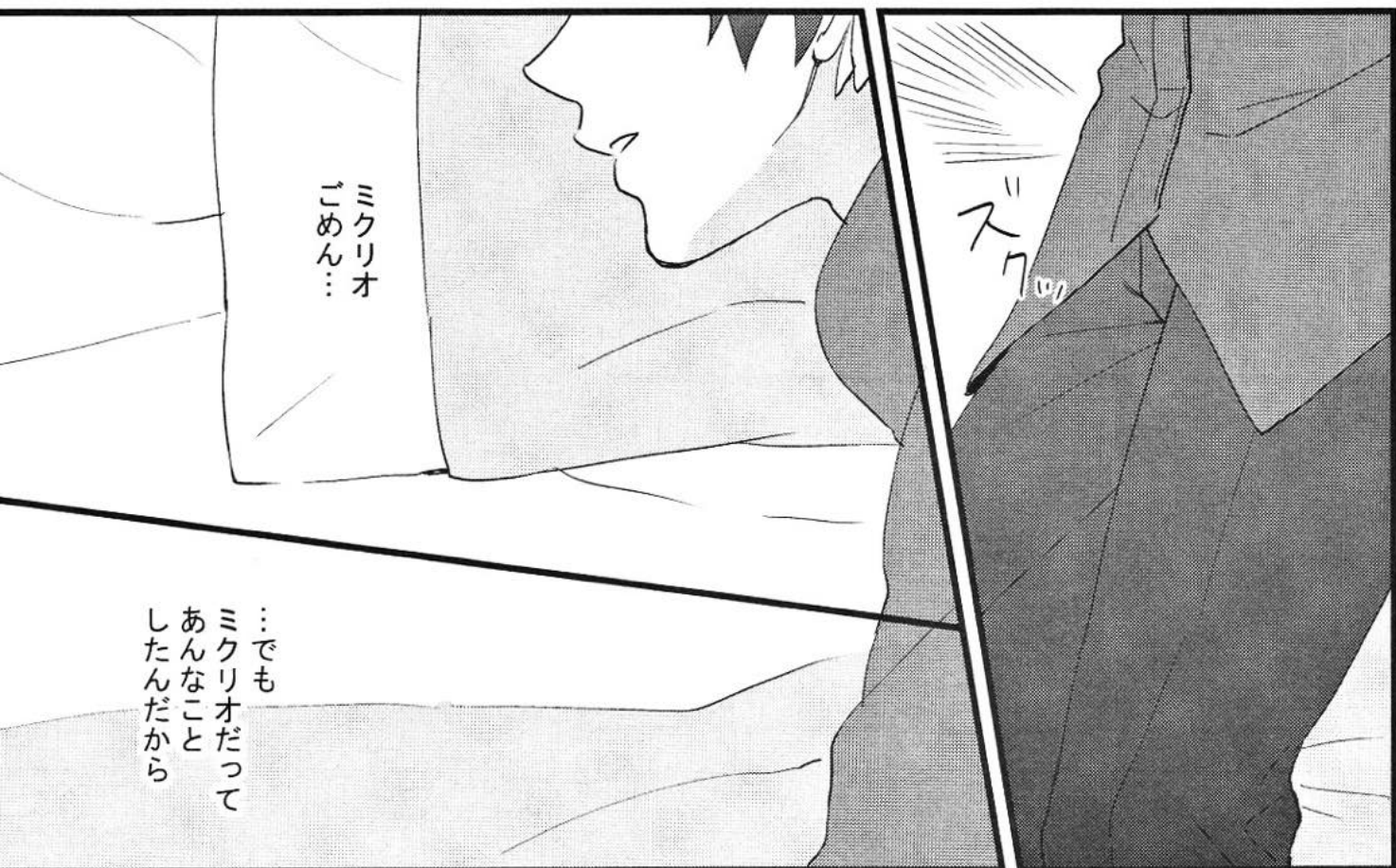
夢じゃないとしたら
どうしてミクリオは
あんなことを？



オレのことが
好き…？

ドキ

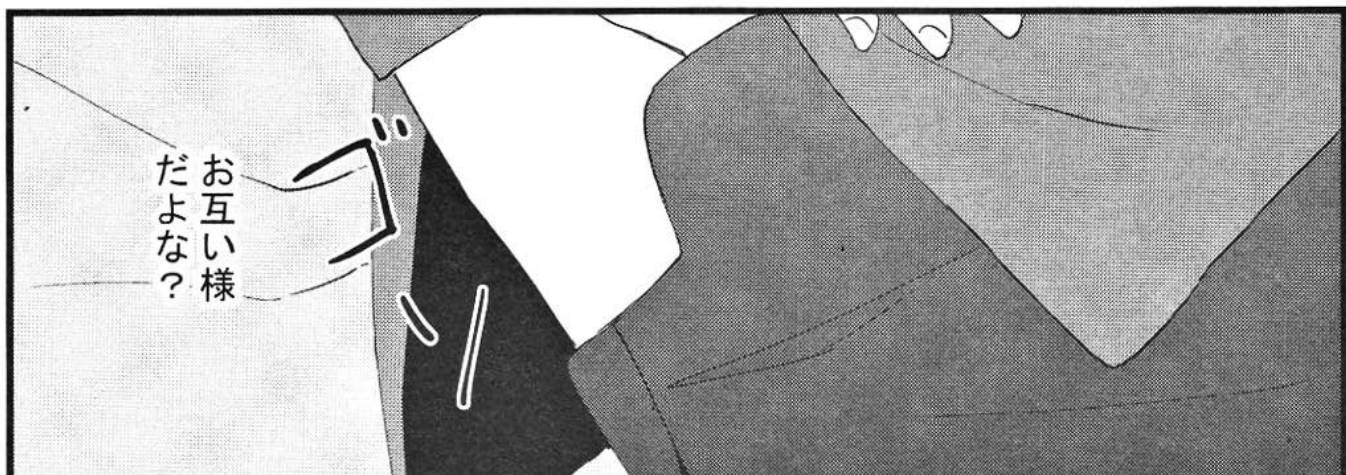
「スレイ…好き…」



ミクリオ
ごめん…

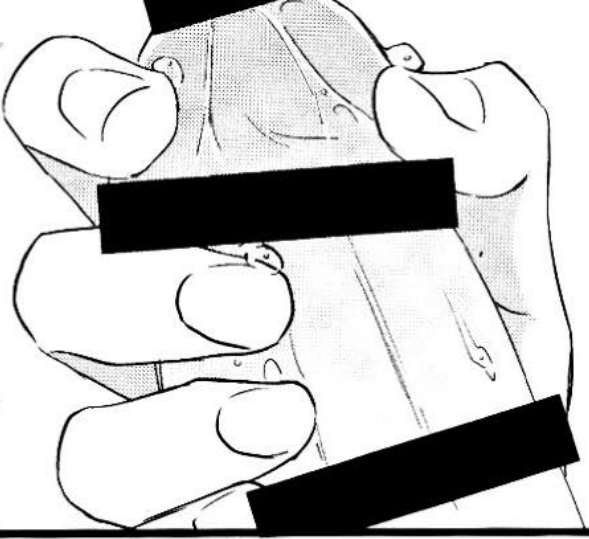
スグッ

…でも
ミクリオだって
あんなこと
したんだから



お互い様
だよな？

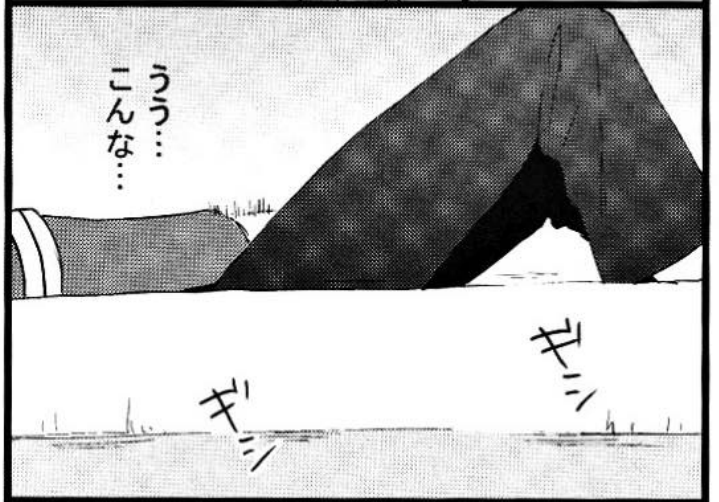
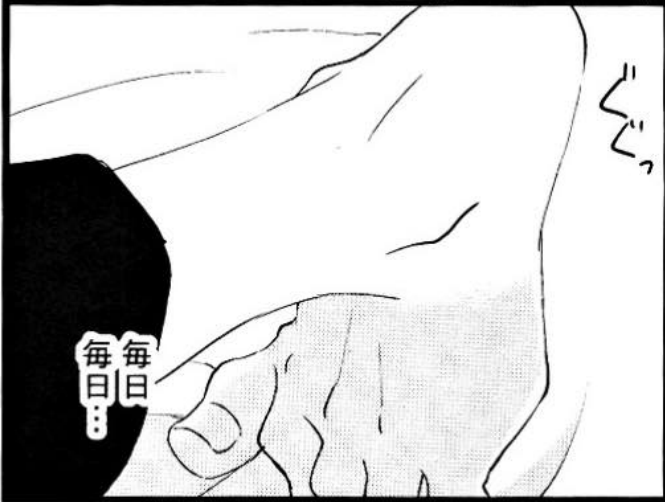
ぬ
子



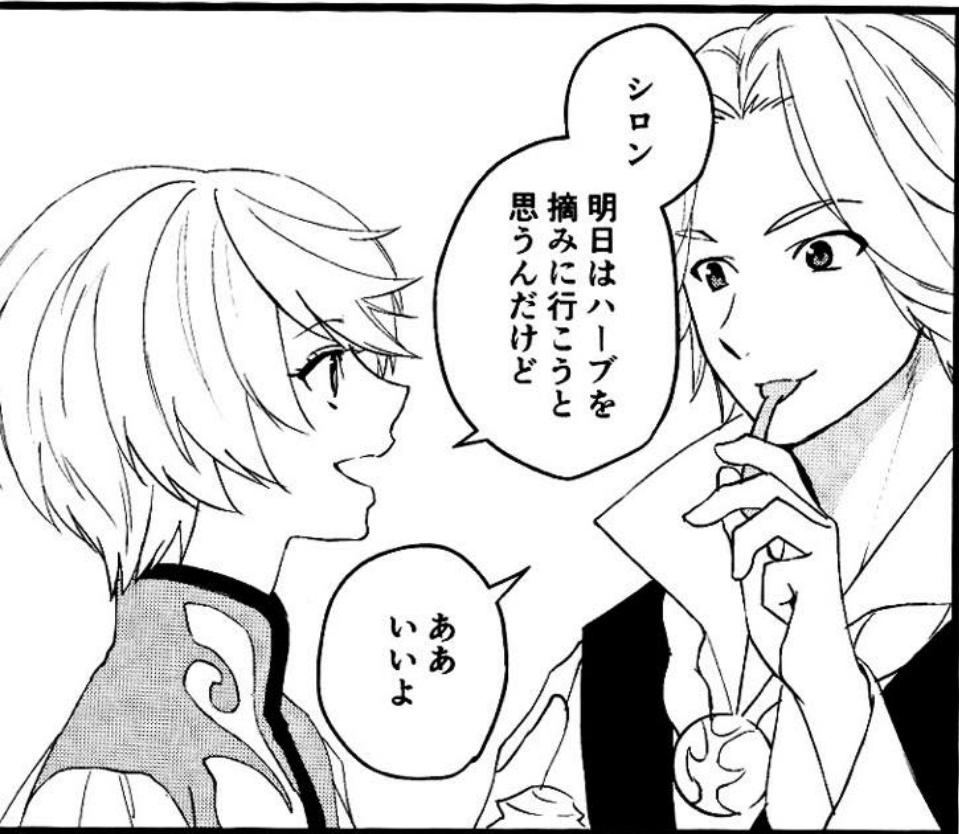
ミクリオ…

ミクリオ…!









シロン
明日はハーブを
摘みに行こうと
思うんだけど

ああ
いいよ



どうせまた本ばかり
読んでるんだろ！
少しはシロンを
見習ったら？

う…
わかったよ…



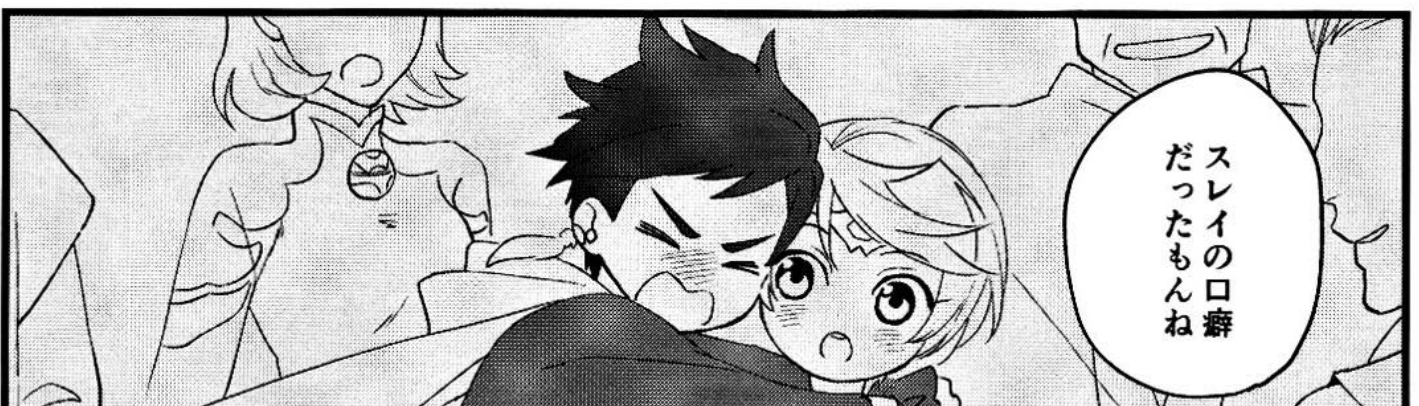
スレイ
どうかした？

え



なんだよ
シロン、シロンって

オレを好きなんじゃ
ないのかよ





そんなんじゃないって……!



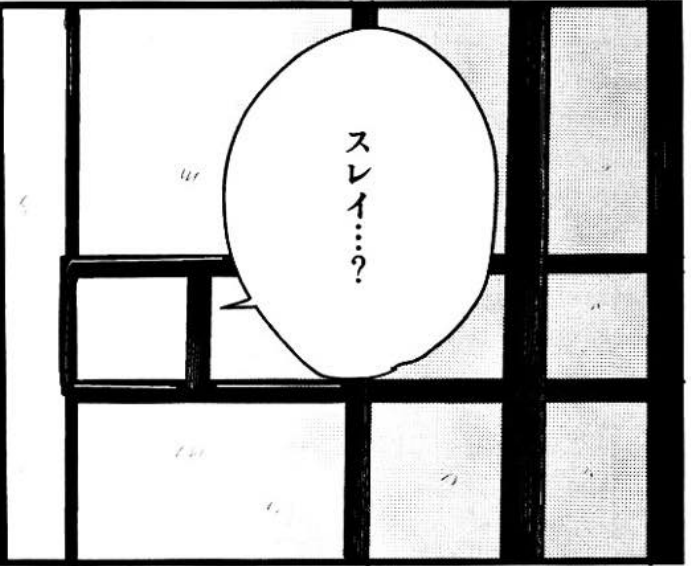


やっぱりあれは
夢だったのか？

ミクリオはシロンが
好きなのかな…

そんなの…

?





君がシロンに
ヤキモチを焼くなんて...



嬉しかった

そんな意味じゃないって
わかっているのに...

?



...君はいつか
ここを出て

人間の女性と
つがいになるんだ



君が望んだ
ことなら



僕はそれでも
構わない



だけど



この世界の
どこにも

君がいなくなって
しまったら僕は……




君の子が欲しい



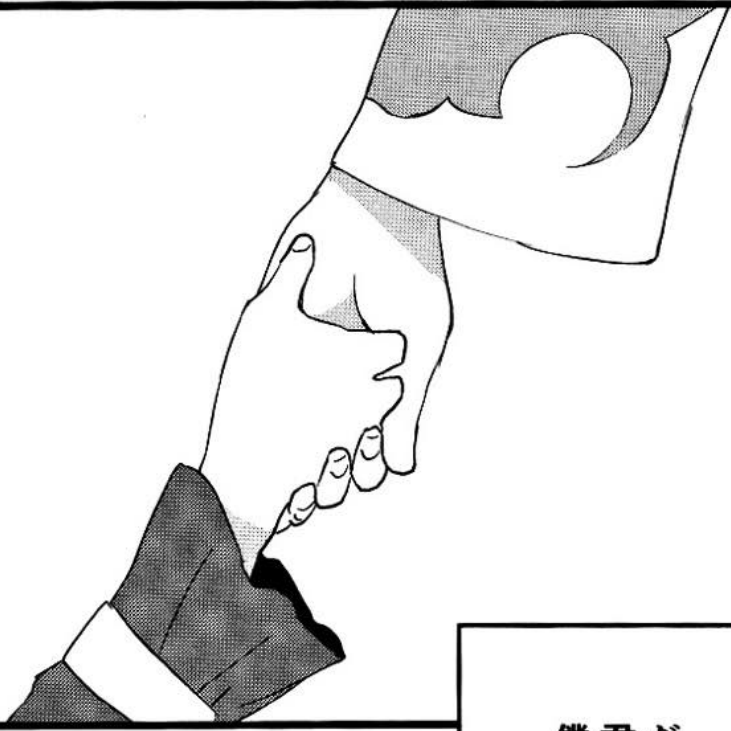
ずっと考えてた

世界が君を
失ったら

僕は何を考え
どう生きていく



考えても考えても
わからなかった



だけど
君の子がいれば
僕は――



そんなの
ダメだ!

す、すれ…



あ、

あたりまえだろ!
君の子なんだぞ!

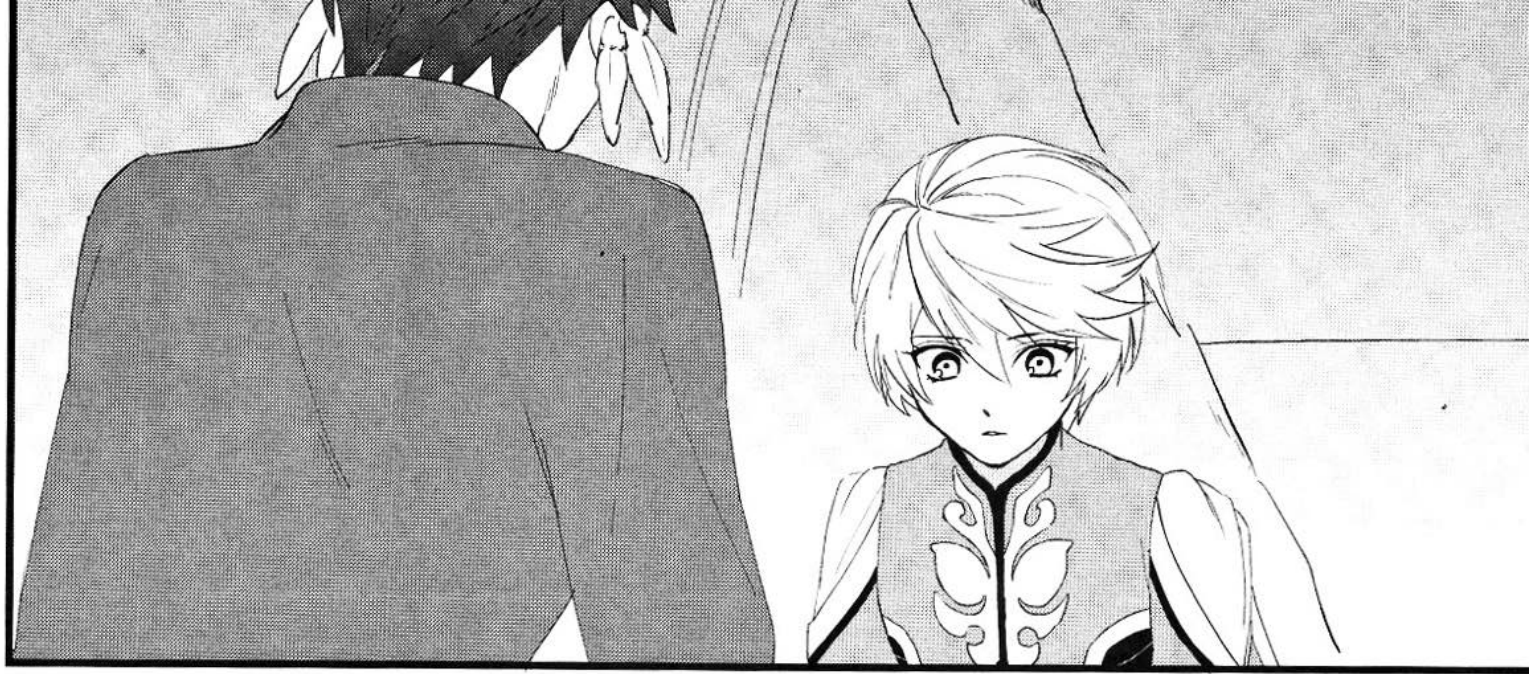


子供なんて
作ったら

ミクリオ
スッゲー大事に
するだろ!

オレにするみたい
に優しくして一番
大切に
するんだろ!





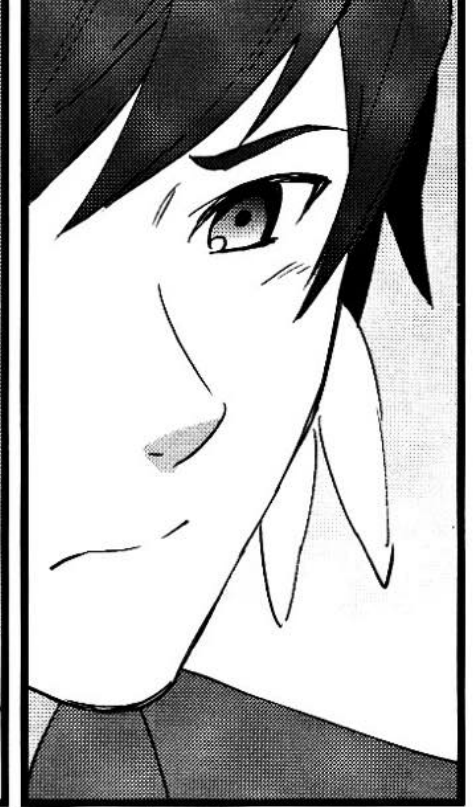
——たとえ
オレの子でも



それは
オレじゃないよ、
ミクリオ

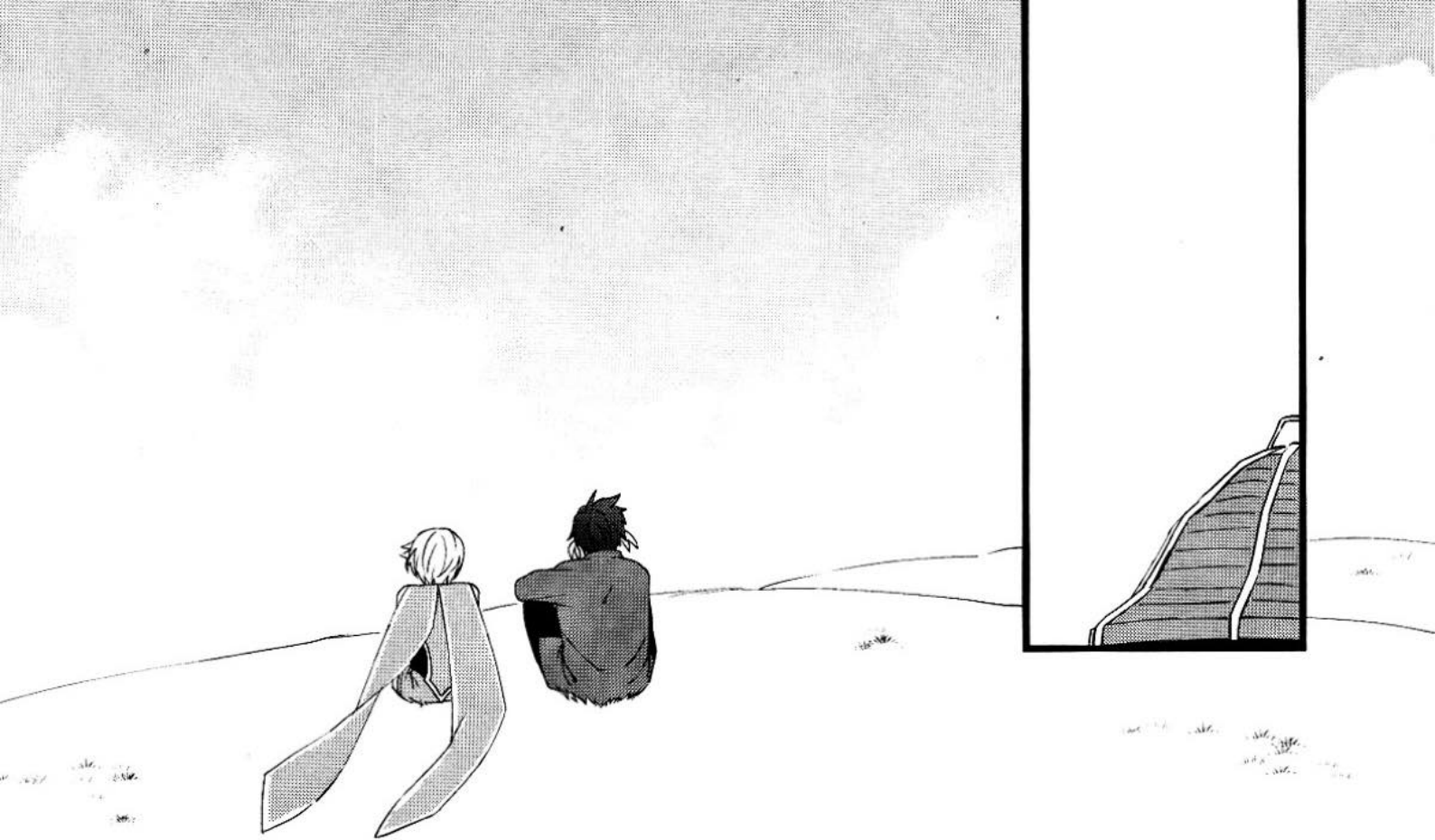


ミクリオの中から
オレを消さないで



消さない…

消せるわけない…!!



昨日は酷いこと
言っでごめん



よく考えたら
ミクリオがオレの子
産むなんて

オレのものに
なったみたいで
嬉しいし!



やっぱり
子供作ろう!



無理じゃなくていい

無理じゃない！

そりゃ
妬かないわけ
じゃないけど

ミクリオが
寂しい思いするの
は嫌なんだ



それに
他の誰かのもの
になら
なるくらいなら

オレの子を
産んで欲しい



僕も
君じゃなきゃ
嫌だよ





君の気持ちも
考えずに――

オレの
気持ちは……!



ありがとう

でも
大丈夫だから



イズチには
みんなもいるし
寂しくない

それに
ずっとずっと
先の話だろ？



…なんで
謝るんだよ

こんな時くらい
オレを頼れよ

かやう
かやう



君まで
不安にさせて
すまなかった



いつだって
頼りにしてるよ




わかってる

お前が強がるのは
オレが情けない
せいだって

それでも――

“忘れてくれ”の
一言が言えない



Because of the blinding glare
the star didn't sight of in his eyes.